

GLOCAL

Glocal Human Resources Development Center

GLOBAL + LOCAL = GLOCAL グローカルな人を育てる。

THINK GLOBAL, ACT LOCAL

代表理事ご挨拶 GREETING

代表理事 / REPRESENTATIVE DIRECTOR

榊田 隆之 TAKAYUKI SAKAKIDA

グローバルな視点で物事を考える能力を兼ね備えつつ、地域経済・社会（ローカル）の持続的な発展に情熱を注ぐ「グローカル」な人材を育成して行きたい。グローカル人材開発センターは、そのような想いに共感する京都の大学、経済界、および行政機関等の協力のもと、「オール京都」体制で設立されたNPO法人です。

大学教育を通じて、学生の皆さんがより明確な職業観や将来ビジョンを持って社会人になるための環境づくりが今求められています。グローカル人材開発センターでは、産学公民の緊密な連携を通じて大学教育のあり方を見つめ直し、個人の個性や得意分野を伸ばすための、よりダイバーシティに富んだ実践教育（アクティブ・ラーニング）の仕組みづくりに取り組んでまいりたいと思います。

皆様におかれましては、当センターの設立趣旨をご理解いただき、何卒より一層の御支援・ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



GLOCAL VISION

設立趣意 PROSPECTUS

グローカルな人を育てる。

京都には、地域に根差しながら世界的に活躍する先進的企業が集積しています。また観光業はもとより、伝統産業からベンチャー企業に至るまで、地域経済を支えるユニークな中堅・中小企業の層が分厚く形成されています。さらに日本有数の大学の街でもあり、留学生も世界から集まってきます。

私たちは、この京都の将来にとっては、地域経済・地域社会の発展を支える情熱と、グローバルな視点で物事を考える能力をともに有する人材、公共マインドを持って地域社会に根付きつつ、グローバル経済に対応する冷静なビジネスマインドを兼ね備えた人材こそが必要だと考えました。そして、この人材を「グローカル人材」と呼称することとし、その育成方法について産学協働で検討してきました。

育成にあたっての大きな課題は、大学における専門教育と現実の社会のニーズ、特に経済界の人材ニーズとをどう橋渡しすればよいか、という点にあります。専門教育の持つ高度な学問性は尊重されねばなりません。その上で、現実の社会の要請、地域経済の負託、学生の期待にこたえうる、今日的な教育の形を再創造していく必要があります。そのためには個々の大学のいわゆるキャリア教育の枠を超えて、アカデミックな専門教育そのもののの中に、就業観、公共観、そして実践的な課題発見・解決能力を養うシステムを本格的に組み込んでいかねばなりません。これは教学のあり方を産学が一体となって改革し、専門科目そのものを大学内外の社会の多様なステークホルダーが協力して開発していく「教育の社会化」を推進する事業となります。

そこで、私たちはこうした事業の拠点となる地域連携センターとして、特定非営利活動法人「グローカル人材開発センター」を設立し、産学公民の強力な連携によって、実践的で主体的な学びに力点を置いた専門教育プログラムおよび地域資格制度の開発と運用を進めていくことを決意しました。この事業は、学生自身の声も聞きながら進めていくことが大切です。未来を担うのはいつの時代も若者であり、世代を超えた対話によってはじめて新しい活力が生まれると私たちは信じます。

本法人はこの思いを原点として学生自身の主体的な学びを支援するとともに、学生と企業との交流機会を積極的に作りだし、骨太かつ実践的に鍛えられた学生が、地域の企業に目を向け、定着し、地域社会の将来を担う人材として活躍していけるよう、積極的な支援活動を行っていきます。以上、本法人は、産学一体の取り組みによって教育と就職の質を向上させ、もって地域社会と地域経済の発展に貢献し、学生・若者の将来を拓く一助となるべく、広く社会に寄与して参ります。

設立代表者 中谷真憲

MISSION VISION

果たすべき使命

地域の経済界と大学・学生を結ぶコーディネート機関として機能し、本格的な産学連携教育プログラムの導入や、主体的で実践的な学びの普及を支援していきます。明日の京都を支える骨太で実践的な人材育成にオール京都で取り組みます。

私どもが描く社会像

産学公民すべてのセクターが、次世代の声を聞き、次世代の育成に取り組む京都であること。グローバルな視野をもった若者が、誇りと愛着を持って支える京都であること。そして、この京都の試みが、日本へ、世界へと広がること。そこに私たちが目指すグローバルな社会、という夢があります。

グローバル人材とは？

グローバルな視点で物事を考える能力を有しながら、地域経済・地域社会(ローカル)の持続的発展に情熱を注ぐ人材であり、この人材を「グローバル人材」と呼称します。

GLOBAL + LOCAL = GLOCAL

■プロジェクトスキーム

IMPACT

社会的インパクト



「グローバル人材」が京都経済・地域社会・大学教育の発展に貢献し、
京都の明日を支え続ける。

OUTCOME

事業による成果



地域経済を支える
人材の輩出

就職率の向上

教育の社会化の
定着

教職員の
意識改革

PROJECT

産学協働による
事業取り組み



事業TYPE

A

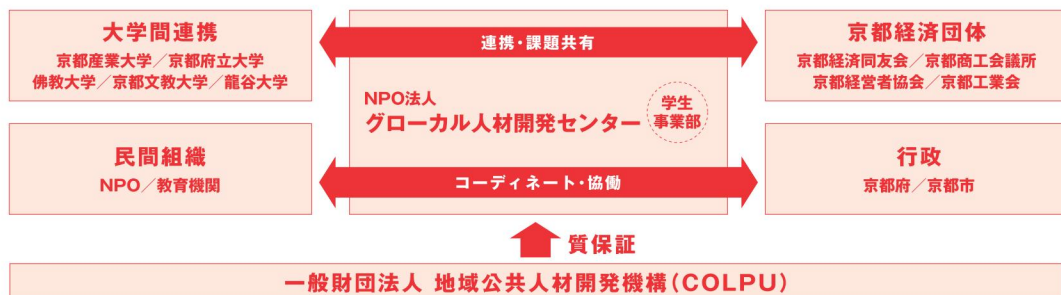
- アクティブ・ラーニング型大学教育プログラムの開発支援・コーディネート
- ・ PBL (課題解決型教育プログラム) の開発と運営
- ・ 「グローバル人材」資格開発
- ・ 教育手法の向上 (FD) の研究
- ・ シンポジウム、教育セミナーの開催

事業TYPE

B

- 学生事業プロジェクトの運営
- ・ 学生事業部の運営
- ・ 学生によるまちづくり施策の企画・立案・実施
- ・ 京都企業への就職支援、京都企業の採用活動支援
- ・ 産業界と学生の連携活動支援

■産学公民オール京都による「グローバル人材」育成体制／プラットフォーム



■NPO法人グローバル人材開発センター 役員

代表理事	榊田隆之	京都信用金庫専務理事
専務理事 事務局長	中谷真憲	京都産業大学法学部教授
理事	山下徹朗	京都商工会議所 常務理事事務局長
	野栗和哉	京都経営者協会 専務理事兼事務局長
	野上幹夫	公益社団法人京都工業会 理事事務局長
	八木 茂	一般社団法人京都経済同友会 理事事務局長
	土山雅之	土山印刷株式会社社長
	富野暉一郎	龍谷大学政策学部教授 (一財)地域公共人材開発機構専務理事兼事務局長
	船橋晴雄	株式会社シリウス・インスティテュート代表取締役
	大西辰彦	京都産業大学経済学部教授・学長特命補佐
	佐野 亘	京都大学大学院人間・環境学研究科准教授
	杉岡秀紀	京都府立大学専任講師・地域連携センター副センター長
	的場信樹	佛教大学社会学部教授・学部長
	松田 凡	京都文教大学総合社会学部・学部長
監事	前野芳子	前野公認会計士事務所所長
	圓花徳彦	京都産業大学学長室・法学部長補佐

NPO法人
グローバル人材開発センター(略称:グローバルセンター)
600-8533 京都府京都市下京区中堂寺命婦町1番地10 むすびわざ館3階
OFFICE HOUR 平日9:30~17:30 (土日祝、夏期休暇期間、年末年始は休業)
TEL 075-283-0027
MAIL info@globalcenter.jp
URL http://globalcenter.jp
ACCESS JR丹波口駅 徒歩4分／阪急大宮駅 徒歩7分／京福四条大宮駅 徒歩7分

